

症例15：頭痛と物忘れの精査で左側頭葉のふくろ状の腫瘍が見つかり、徐々に大きくなるため開頭腫瘍摘出術を行いました。この場所は感覚性言語野          であり、ふくろの後の造影される部分 → が腫瘍本体と判断し全摘出しました。術後経過良好で自宅退院されました。病理診断は神経節神経細胞腫 (ganglioglioma) という珍しい腫瘍でした。

手術前造影MRI

手術半年後造影MRI

